

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

ご多用の中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。2年生以上の児童からのアンケート及び保護者の皆様からのアンケート結果をお知らせします。9月11日に実施されるCS実行委員会(学校運営協議会)のご意見を含めた詳しい内容については、学校ホームページに掲載予定です。

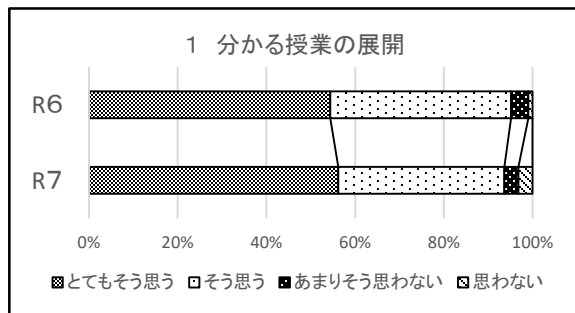
【アンケート実施数】

保護者(児童数) 回収率 62%

(学年別: 1年生83% 2年生52% 3年生59% 4年生56% 5年生61% 6年生61%)

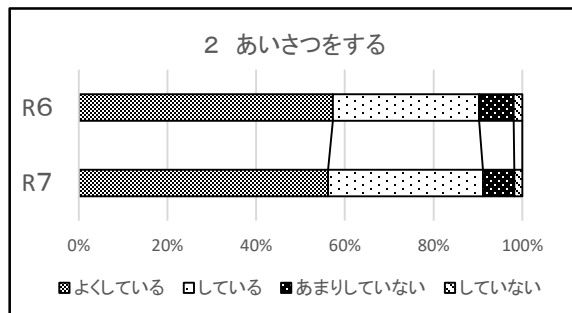
実施児童数(2～6年生) 281名

【児童アンケート】



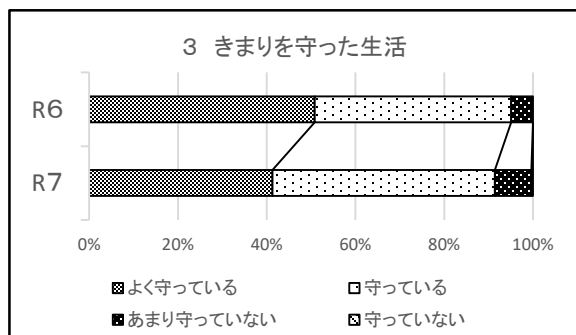
1 分かる授業の展開

昨年の1学期より「とてもそう思う」の割合が増加し、「そう思う」と合わせた肯定的な回答が93%以上である。特に5年生は、肯定的な回答が多く、授業改善の成果が見られる。しかし、「思わない」の割合も増加しており、どの学年にも学習に対する苦手意識がある児童が一定数いる。学習内容が難しくなる高学年に向けて低・中学年の時から、系統的に基礎・基本を確実に身に付けさせる必要がある。そのためには、一人一台のICT端末を活用した視覚的にも「分かる」授業や児童の実態を把握し個に応じた指導を行うなど教職員のさらなる授業改善が引き続き求められる。



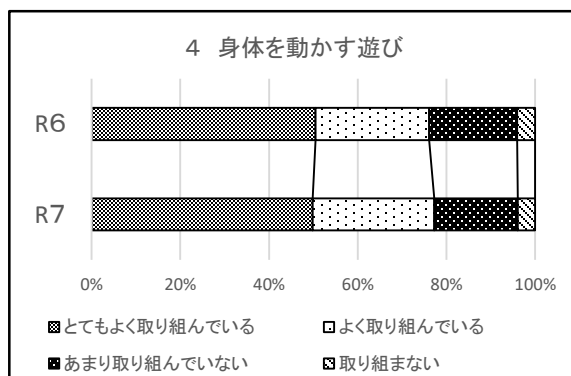
2 あいさつをする

「している」の割合が増え、「あまりしていない」の割合が減少している。教員アンケートの結果からもあいさつに対する取組が昨年より意識して行われており、その成果だと考えられる。しかし、あいさつに対する抵抗感がある児童は一定数いるため、大きな声を出せなくても、相手の目を見てあいさつをしたり、会釈をしたりすることで相手に気持ちを伝えられることを引き続き指導していく。また、校内だけでなく、見守り活動をはじめとする地域の方々や家庭でのあいさつについても意識できるよう指導していく。



3 きまりを守った生活

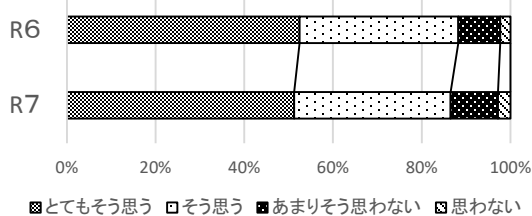
昨年の1学期と比較して、「よく守っている」の割合が減少した。学年が上がるにつれて学校生活に慣れると、きまりに対する意識が弱くなっていく傾向がある。児童が八小のきまりを守り、安全な学校生活を送れるように意識を高めていくことが必要である。きまりの大切さやきまりを守ることの良さを伝えていくとともに、安全指導や日頃の生活指導を充実させていく。



4 身体を動かす遊び

昨年と比べ、運動に「よく取り組んでいる」児童の割合が増えている。学年が上がるにつれて、「あまり取り組んでいない」「取り組まない」の割合が増えていく傾向がある。1学期後半は、猛暑や梅雨の影響で外遊びが難しい状況が続いた。暑さが落ち着き運動しやすくなる2学期は、クラス遊びや運動委員会による「遊びの広場」への参加を促したりするなどして、全校で運動に対する意欲を喚起していく。

5 地域学習

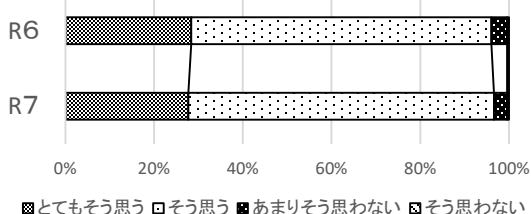


5 地域学習の満足度

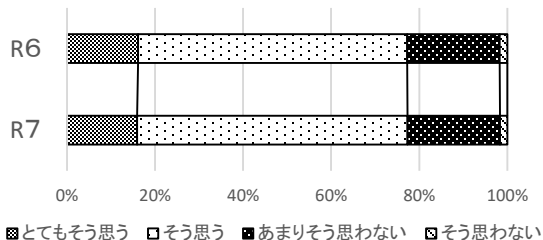
昨年と比べて、全体的に肯定的な意見の割合が減少し、「思わない」の割合が増加している。学年が上がるにつれて、肯定的な意見の割合が下がっていく傾向にある。昨年度から始まった国分寺学年間指導計画を基に、地域人材や地域教材を生かした学習活動を充実させていく必要がある。

【保護者アンケート】

1 分かる授業の展開



2 あいさつをする



1 分かる授業の展開

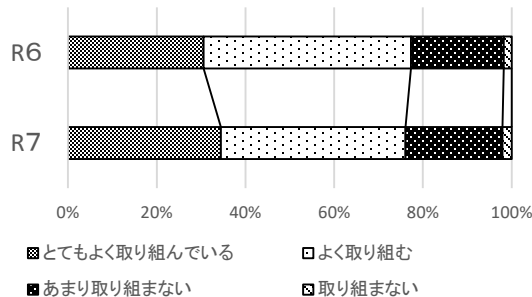
昨年と比較して、「思う」の割合が増加しており、教員の授業改善の成果が表れてきている。しかし、「あまりそう思わない」と考える意見も一定数あるため、学習内容が定着しておらず、学習に苦手意識をもっている児童に対する充実した支援を検討する必要がある。また、引き続きICT機器や一人一台のICT端末の活用、「授業改善推進プラン」を基にした全ての児童に対しての「分かる」「できる」授業を展開していく。

2 あいさつをする

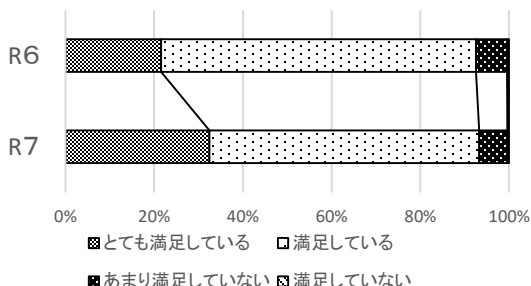
昨年と比較して大きな変化は見られない。児童アンケートの結果と比較すると、本校の児童は、校内のあいさつは概ねよくできている傾向にあるが、家庭や地域でのあいさつには課題があることが分かる。今後も、学校だけでなく家庭や地域でのあいさつの実施についても、低学年の内から児童への意識付けを図っていく。



3 身体を動かす遊び



4 地域学習の満足度



3 身体を動かす遊び

昨年と比較すると、「とてもよく取り組んでいる」が増加する一方、「取り組まない」も増加し、二極化している傾向が見られる。高学年になるにつれて「あまり取り組まない」の割合が高くなっている。児童アンケートからも分かるように熱中症対策で外遊びを控えることに加え、高学年になると児童は習い事や家庭でも様々な役割があり、運動や体を動かす機会が減ることが考えられる。引き続き、運動習慣を付けたり、休み時間での外遊びの充実を図ったりしていく。

4 地域学習の満足度

昨年と比較すると、「とても満足している」が増加した。今年度も、学校ブログ等を活用し地域学習についても積極的に発信してきており、その成果も表れてきていると考えられる。今後も、児童が地域学習に主体的に取り組める活動を充実させ、その様子を定期的に発信していく。

